

## 1. 活動の概要

6月6日(金)隠岐の島町立五箇小学校で「勾玉のなぞを探ろう」と題し、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

まず、図工室で勾玉作りを行いました。勾玉はなぜこんな形なのか、なぜ作られたのかなどについて資料を見ながら学んだ後、実際に勾玉作り体験の開始です。この体験では、柔らかい滑石を石材に用いましたが、それでも初めての子ども達には時間がかかります。自分の思ったおりの形になんとか近づけようと、石を磨く子ども達は一生懸命でした。一緒に作っていた先生がいち早く完成に近づいたのを見て、児童のみなさんも、より力が入っていました。終わりには、勾玉と古代衣装を身につけてみんなで記念撮影をしました。

次は奈良の大仏作り体験です。体験の前にDVDを視聴して、奈良の大仏がなぜつくられたのか、聖武天皇の思い、作業に当たった人々の生活や苦勞、完成した大仏の姿などを学びました。

最後は、体育館へ移動し奈良の大仏の等身大パネルをクラス全員で組み立てました。大仏の台座となる1列目だけは事前並べておき、児童のみなさんには、それより上のパネルを全部並べ、完成させてもらいました。

今回は、7名という少人数での大仏パネル作りでしたが、子ども達は協力し、短時間で大仏を完成させることができました。ステージから完成した大仏を眺めながらの質問コーナーでは、いろいろな質問が出ました。

## 2. 活動の様子

### 1) 勾玉づくりと当時の様子を学ぶ



早く完成させようがんばっています。



顔まで白くなっています。

### 2) 古代体験活動～大仏パネルづくり～



端から並べています。



皆さんに比べて大仏の大きさと云ったら

## 3. 子ども塾を終えて

### 1) 児童の皆さんから…

- 初めて勾玉を作った。
- 大仏のなぞがよくわかりました。
- 勾玉がうまくできて良かった。
- 本物の奈良の大仏を見てみたいです。
- 隠岐の古墳を見学してみたい。

## 2)担任の先生から…

- 各メニューの時間設定がちょうど良く、質問コーナーもあり子ども達にはわかりやすかったです。
- 隠岐まで来ていただいたので大変助かりました。

## 3)埋文センターから

参加した児童数が少なく、大仏作りに時間がかかるのではと心配していましたが、全く心配には及びませんでした。子ども達は自然と役割分担ができており、大規模校とはちがった小規模校の良さが伝わってきました。勾玉作りでは、時間内に何とか完成させようと一生懸命取り組む姿が印象的でした。